

〈発行者〉二所ノ関部屋後援会

〈発行〉〒273-0037

〈連絡先〉千葉県船橋市古作4-13-1

〈協力〉スポーツニッポン新聞社

第69号

二所ノ関部屋

自転車で転倒、開頭手術、意識不明乗り越え日々前進

親方復帰に向けてリハビリ開始

みづえ夫人 励まし応援に感謝

「皆さまにはいろいろご心配をおかけしました。思われている以上に回復には向かっております。私の目標は親方が背広を着て国技館の門をくぐることに。後援者の方や協会関係者、いろんな人に励ましていただいた。その方々ためにも頑張らないといけない」

松鳳山 弟子たちの思いは一つ
「師匠がいけないからダメだったと言われないようにと話し合った」

中園 初場所の雄姿を届ける
「みんな気持ちは同じ。早く戻ってきてほしい」

「皆さまにはいろいろご心配をおかけしました。思われている以上に回復には向かっております。私の目標は親方が背広を着て国技館の門をくぐることに。後援者の方や協会関係者、いろんな人に励ましていただいた。その方々ためにも頑張らないといけない」



皆さま、ご心配おかけしました。師匠は回復に向かつております。10月に路上で倒れ、船橋市内の病院で入院中の二所ノ関親方(元大関・若嶋津)は意識も徐々に回復し、復帰に向けたリハビリを開始している。師匠不在のなかで九州場所に臨んだ弟子たちも師匠にいい報告を届けるべく、初場所(1月14日初日、東京・両国国技館)での奮起を誓った。2018年も黒ヒョウ軍団へのご支援、ご指導をよろしく願います。

10月19日 見された。その日は朝稽古を終えて部屋近くサウナに自転車で向かったが、倒れて従業員に介抱されたという。しばらくのなかで、黒ヒョウ軍団として帰道で転倒。病院は体中から熱気を発散させた。命に別状はなかったが、しばらくは意識は戻らず小床状態が続いたが、家族の思いは病床の師匠に伝わった。

10月19日 九州場所中は相撲中継をラジオを流し、懸命な呼びかけで訴え続けた。現在は、家族の認識はでき、会話もわずかだが可能となった。「親方とキヤッチボールはできています」

家族一丸 九州場所中は相撲中継をラジオを流し、懸命な呼びかけで訴え続けた。現在は、家族の認識はでき、会話もわずかだが可能となった。「親方とキヤッチボールはできています。何となく、私たちが訴えてきています」とみづえ夫人は話す。今後はリハビリを続けて、一日でも早く相撲場に帰ることを目指す。「私の目標は親方が背広を着て国技館の門をくぐる」と。

部屋一丸 師匠不在となったが、湊川親方をはじめ、部屋付きの親方らが熱心に弟子を指導。力士たちも一丸となって九州場所に臨んだ。「師匠がいけないからダメだったと言われないように」と話し合った

大関・若嶋津は必死に頑張っている。その遺伝子を次ぐ弟子たちも新年の土俵で力を振り絞って戦い、師匠を勇気づけることだろう。再び稽古場に帰ってくる瞬間を思い描きながら…。

(黒田 健司郎)

12月5日、朝倉市の被災地訪問で土俵入りを行う横綱・白鵬の露払いを務める松鳳山(右)



松鳳山 被災地慰問で白鵬の露払い

九州場所後朝倉市 部屋頭の松鳳山は東4枚目だった九州場所後8勝7敗と踏ん張って、九州場所に臨んだが3勝12敗に終わった。初日は同じ一門で大分県出身の嘉風。館内の人気者同士の対戦は、激しい突きの応酬から土俵際の突き落としで撃破した。2連勝スタートに「師匠にいい報告ができるように」と話したが、終盤に失速。それでも、常に全力で闘志を見せる取り口は地元ファンを魅了した。場所後の12月5日には7月の豪雨で被災した朝倉市を慰問。白鵬の露払いを務め、有川、今福と参加した冬巡業でも元気な姿を見せた。2月には34歳になる。関取ではすっかり古株の存在となったが、まだまだ若手には負けてられない。

地元で無念の3勝12敗も…闘志全開でファン魅了

十両へ一山本飛躍の2年目幕開け

デビュー年負け越しなし!!初場所自己最高位

社会人生活を経て入門した一山本も着実に番付を上げてきた。昨年の初場所では初土俵を踏み、番付にしこ名が載った春場所でも序ノ口V。序二段、三段目は1場所まで通過し、九州場所は東幕下26枚目で4勝3敗だった。「昨年は負け越しもなかったし、順調にはきたと思う。でも九州場所は最後の相撲で引いてしまった。それは反省です」と振り返った。

幕下は2場所経験。相手のレベルも上がり立ち合いは厳しさを増してきた。「一気に持っていられることもあるし、まだまだ課題も多い」。初場所は自己最高位を更新し、新十両が徐々に視界に入ってきただけに「2018年は十両昇進に挑戦できるよう精進したい」と意欲を見せた。

一山本 ⑤日々精進し番付を駆け上がる ⑥一山本に食い下がる若苦龍

お疲れさまでした 徳州山 秋場所引退

秋場所後に断髪式 師匠が止めばさみ 徳州山(28)は本名・川元裕仁が秋場所限りで引退した。奄美大島出身で、2005年の夏場所まで本名の「川元」で初土俵。突き押しを武器に順調に出世し、新三段目の08年初場所から「徳州山」に改名した。その後ケガなどで三段目生活が長くなったが、13年夏に幕下に昇進。その場所の幕下60枚目が最高位となった。通算73場所務め、245勝218敗41休。秋場所後に断髪式を行い、師匠が止めばさみを入れた。今後は飲食関係の仕事に進む予定だ。



師匠に止めばさみを入れてもらい力士生活に別れを告げた徳州山



中園は今年こそ関取昇進だ



若ノ藤肺炎も前向き3勝!!

中石着実に進化 5番勝てた!!

黒ヒョウ軍団11力士完全データ

○：中園にとっては悔しい一年となった。春、夏と6勝を挙げ、名古屋場所では幕下11枚目まで昇進したが、場所前のケガでその場所を全休。秋場所は3連敗から4連勝と力のあるところを見せたが、

九州では3勝2敗から連敗して負け越した。「まだ感覚がもうひとつ戻っていない」と話すが、まずは完全な体調で臨みたいという。一来年は十両に上がる気持ちで頑張ります」と意欲を見せた。

○：若ノ藤は九州場所前に肺炎で入院するなど順調さを欠いた。万全ではないなかで場所に臨んだが「親方などから思い切った相撲を取ってほしい」と言われた。負け越したが、3勝で来たのは良かった」と前向きに捉えている。現在は教

習所の指導員も務めており多忙な状況。「18年はまずはケガに注意して万全な状態で土俵に上がりたい」と意欲を引き締めた。

○：中石が九州場所でも5勝を挙げると意欲を吐いた。自己最高位の西序二段32枚目で臨んだ秋場所は一番、番付を大きく下げたといえ、久しぶりに5番勝てた」と喜びを浮かべる。入門して4年半。上半身の肉付きも少しづつ見栄えがするようになってきた。「依然として腰高なので、2018年もその課題を修正し、三段目昇進を狙いたい」と19歳は目を輝かせた。

▼白鵬 昨年はケガに泣かされて一年でした。秋場所前にギブスを装着した影響もあって九州場所もあの位置ならはケガをしない体づくりをし

た。▼若山 ケガから復帰して三段目にも上がった。ケガの方は大丈夫。2018年は三段目で定着して自己最高位を更新していきたい。▼若山 ケガもあつた2017年でした。今年はケガをしない一年を送りたい。横綱(稀勢の里)の付人もさせていたが、場所中の支度部屋などの準備など、いろいろな勉強になりました。

Table with 11 columns: Name, Position, Record, etc. for the Black Panther stable members.

Main table with 11 columns: Name, Position, Record, etc. for various wrestlers.

Table with 11 columns: Name, Position, Record, etc. for various wrestlers.